



こころ・からだ・社会をつなぐ

—結び目としての発達心理学

一般社団法人日本発達心理学会 第 37 回大会ご案内

2026 年 3 月 3 日 (火) ~5 日 (木)

福岡国際会議場 (福岡市)

参加・発表・企画申込&大会論文集
原稿投稿×切:
10 月 17 日(金)17:00

開催のご挨拶

第 37 回の日本発達心理学会大会を、2026 年 3 月 3~5 日の 3 日間、福岡国際会議場(福岡市)で開催することになりました。福岡での開催は 20 年振りだそうです。前回の会場でもあった九州大学のメインキャンパスは、2020 年に福岡市の西の果てに移転しており、当初はそちらでの開催の可能性も検討したのですが、1500 人が想定される参加者の皆様に、交通手段を含めてご不便なく参加していただくことが難しいと判断し、今回は、福岡市中心部の福岡国際会議場を会場とさせていただきました。博多湾を臨むベイエリアに位置し、福岡空港・博多駅からのアクセスも良好です。宿泊についても、福岡市内・周辺で好みに応じて広くお探しいただけたと思いますが、地方都市にありがちなことで、大人気アーティストのコンサートが突然発表になったりして一気に「軒並み満室」、ということもないとはいえません。2026 年 3 月 3~5 日、まずは早めのご予定の確保と、宿泊の予約をどうかよろしくお願いします。

大会テーマは「こころ・からだ・社会をつなぐ—結び目としての発達心理学」としました。「つなぐ」までもなく、個体のこころとからだ、そして個体同士が構成して関わりあう社会、そして、その基盤となる地球規模での生態学的環境を個別に考えることは、本来できません。とはいえ、様々な意味での不均衡や分断が顕在化する現在の世界で、その本来の連続性を、多様な視点から議論することには重要な意味があると思います。「発達」という時間軸は、この連続性を見直す上でも欠かせないものです。理論・実験・臨床・実践といった領域を超えた結節点、「結び目」としての発達心理学の役割を、改めて考え議論させていただく機会になればと願っております。

今大会では、学会としての懇親会は開催いたしません、会場をとり囲む博多の街全体が参加者の皆様の懇親会場だとお考え下さい。何年か後に、「あの時、中洲の屋台で話しているうちに浮かんだアイディアが、この新しい研究／実践の出発点だったなあ…」なんていうことがあったら、主催者の一人としてこれ以上嬉しいことはありません。会場に関しても、福岡国際会議場の機能を活かして、参加される会員や同伴されるご家族の皆様に、活発かつゆるやかに交流していただけるような会場設営を目指したいと考え検討を進めています。今後の情報については HP(<https://www.jsdp.jp/jsdp2026/>)を通じて随時お知らせいたします。

学会が開催される 3 月はじめの福岡は、桜には早いですが、太宰府天満宮ははじめ梅の名所が賑わう時期です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第 37 回大会委員会委員長 橋彌和秀
(九州大学大学院人間環境学研究院・教育学部)

目次

1.	送付物一覧	p. 2
2.	会期・会場	p. 2
3.	実施内容	p. 2-6
4.	大会参加の手続き	p. 7-10
5.	大会に関する広報・諸連絡	p. 11
6.	第 37 回大会および学会に関する連絡先	p. 12

1. 送付物一覧 (今回お送りしたもの)

■「大会ご案内」(本通信)

※「郵便振替用紙」は同封していません(参加費等の支払いに関しては p.7【4】費用の納入を参照)。

※連絡事項があれば日本発達心理学会第 37 回大会ヘルプデスクにご連絡ください。

→連絡先 E-mail:jsdp-desk@conf.bunken.co.jp

※大会論文集の原稿作成要領については大会 Web サイトをご覧ください。

2. 会期・会場

■会期:2026 年 3 月 3 日(火)～ 5 日(木)

■会場:福岡国際会議場

会場アクセスについては、大会 Web サイトをご覧ください。

3. 実施内容

本大会の実施内容には、大会委員会および学会等が企画するものと、関連団体または会員が企画するものがあります。次に、それぞれの概要と発表形態、参加方法などについて説明します。

3-1. 大会委員会および学会等が企画するもの

大会企画について(特別講演、特別シンポジウム)

大会委員会としても現在、多くの方にご協力を頂きながら企画を進めております。学会企画シンポジウム・ラウンドテーブル等とともに、現時点で固まっている企画についてテーマをご紹介します(名称は、プログラム掲載時点で変更の可能性があります)。「特別講演」と「特別シンポジウム」については、少し詳しく紹介します。

【1】特別講演

◇テーマ:“Early Social Cognition as a First Knot Between Generations”

「世代をつなぐ最初の結び目としての発達初期の社会認知」

◇講演者:Gergery Csibra 氏(Central Europe University, Hungary/Austria)

特別講演者として、中央ヨーロッパ大学(CEU)の、ゲルゲリー・チブラ Gergery Csibra 教授をお招きすることになりました。チブラ先生は、同僚のゲルゲイ先生と共同で提出された「ナチュラル・ペダゴジー」仮説とそれを検証する一連の実験発達研究をはじめ、社会認知・コミュニケーション発達に関する数多くの洗練された実験研究と理論で知られるとともに、世界的研究拠点のひとつである同大学の赤ちゃんラボをリードしてこられた研究者です。

チブラ先生にはこの特別講演(3 月 4 日午前を予定)とともに、日本国内の若手研究者の方々にご企画いただくシンポジウムのコメンテーター／ディスカッサントもお引き受けいただいています。

【2】特別シンポジウム

◇テーマ:「育ち／育てを描くこと・研究すること・そこから色々考えること」

◇登壇者:吉田戦車氏(漫画家)・伊藤理佐氏(漫画家)・細馬宏通氏(早稲田大学)・齋藤慈子氏(上智大学)・
麦谷綾子氏(日本女子大学)・橋彌和秀氏(九州大学)

漫画家の吉田戦車・伊藤理佐ご夫妻にご登壇いただき、娘さんの誕生・成長をそれぞれの視点から描かれた作品「まんが親」(吉田戦車著・小学館)・「おかあさんの扉」(伊藤理佐著・オレンジページ)を中心に、発達心理学者・行動学者が読み解きます。研究者によるトークに、吉田先生・伊藤先生からレスポンスをいただきながら、

「発達」を見つめる／眺めることから拓ける様々なもの・ことについて議論します(3月4日午後を予定)。

【3】招待講演

BPS(British Psychological Society)発達部門カンファレンスの Margaret Donaldson Award を受賞された先生にも招待講演を行っていただく予定です。

【4】大会委員会企画シンポジウム

以下のタイトルで企画を進めています。

- ◇「赤ちゃん学から発達心理学へ：発達初期をめぐる基礎研究」
 - ◇「アロマザリングのダイナミクスからアタッチメントを捉え直す：包括的な育児理解に向けて」
 - ◇「日常会話の“あいまい力”をさぐる：語用論・発達心理・認知科学の交点」
 - ◇「多様な支援ニーズのある子どもたちとインクルーシブなサポートをめぐる：『学び方を自ら学ぶ』プロセス」
 - ◇「都市で育ちゆく人の発達心理学：生活世界を共に歩く」
 - ◇“Foundations and Perspectives of Social-Cognitive Development”
- これに加えて数件を企画しております。HP のアップデートをお待ちください。

【5】学会企画シンポジウム等

- 国際研究交流委員会：BPS(英国心理学会)発達部門との共同企画として、
- ◇BPS 発達部門カンファレンスの Margaret Donaldson Award 受賞者による招待講演
 - ◇ジョイントワークショップ
- 国内研究交流委員会：
- ◇「発達心理学から自立と依存を問い直す」
- 発達心理学研究編集委員会：
- ◇「ポジティブな自己意識的感情の発達」
 - ◇「報告論文の手引きについて」
- 発達心理学研究編集委員会&ハラスメント防止委員会：
- ◇「研究を始める前に知っておきたい倫理(1)：研究倫理ガイドブック(学会監修)を活用して」
- 社会貢献委員会
- ◇「発達心理学会は「組織」として、いかに社会貢献をなし得るか？」
- 他 数件
- ◇関連学会・団体との共催シンポジウム 数件

3-2. 関連団体または会員が企画するもの

■以下の表に示す5種類があります。

	【1】 学会関連団体による 企画シンポジウム	【2】 学会関連団体による 企画ラウンドテーブル	【3】 自主シンポジウム	【4】 ラウンドテーブル	【5】 ポスター形式の 研究発表
1) 企画者	関連団体	関連団体	会員	会員	会員
2) 発表形態	企画者が出演者を 決め、研究発表や 討論	企画者と参加者が 自由に討論	企画者が出演者を 決め、研究発表や 討論	企画者と参加者が 自由に討論	ポスターを掲示し、 質問者と個別に討 論
3) 発表時間	120 分	120 分	120 分	120 分	掲示 120 分 在席 60 分
4) 申込方法	Web サイトから規定の要領でお申し込みください				
5) 論文集 割当頁	2 ページ	1 ページ	2 ページ	1 ページ	1 ページ
6) 企画費	5,000 円	5,000 円	20,000 円	20,000 円	大会参加費に含む

【1】日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム

- 1) 企画者 日本発達心理学会における分科会や地区懇話会、あるいは臨床発達心理士認定運営機構などの関連団体による企画を想定しています。
- 2) 発表形態 下記の「【3】自主シンポジウム」と同様
- 3) 発表時間 120 分

- 4) 申込方法 企画代表者が、Web サイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集 2 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
- 6) 企画費 5,000 円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数 日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウムを企画申込できる回数は団体毎に 1 回とさせていただきます。
また、出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画ラウンドテーブル、自主シンポジウム、ラウンドテーブルと合わせて大会中 1 人 3 回までとさせていただきます。
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には、出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。**
会員・非会員にかかわらず、出演する場合(司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等)、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、p.10 一覧表の注 3)に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1回のみ一人分支払うことになります。
- 9) 利益相反の申告 p.8 の「【5】 注意事項」をご覧ください、利益相反の申告(一定の限度を超えた場合に限り)をお願いします。

※理事会および各種委員会の企画については、企画費は徴収しません。理事会および各種委員会による企画につきましては、大会委員会(meeting2026@jsdp.jp)に企画代表者が直接お申し込みください。
※日本発達心理学会の分科会や地区懇話会は関連団体となるため、企画費が必要です。

【2】日本発達心理学会関連団体による企画ラウンドテーブル

- 1) 企画者 日本発達心理学会における分科会や地区懇話会、あるいは臨床発達心理士認定運営機構などの関連団体による企画を想定しています。
- 2) 発表形態 下記の「【4】ラウンドテーブル」と同様
- 3) 発表時間 120 分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Web サイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集 1 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
- 6) 企画費 5,000 円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数 日本発達心理学会関連団体による企画ラウンドテーブルを企画申込できる回数は団体毎に 1 回とさせていただきます。
また、出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム、自主シンポジウム、ラウンドテーブルと合わせて大会中 1 人 3 回までとさせていただきます。
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には、出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。**
会員・非会員にかかわらず、出演する場合(司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等)、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、p.10 一覧表の注 3)に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1回のみ一人分支払うことになります。
- 9) 利益相反の申告 p.8 の「【5】 注意事項」をご覧ください、利益相反の申告(一定の限度を超えた場合に限り)をお願いします。

【3】自主シンポジウム

- 1) 企画者 会員
- 2) 発表形態 企画者が出演者(司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど)を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。
会場は、100 名程度収容可能な部屋です。
原則として、企画者・出演者は会場にて発表を行います。ただし、様々な理由から来場が困難な場合、オンラインによる研究発表や討論を行うことができます。
※会場系のスタッフが設備の使用に関するお手伝いはいたしますが、プロジェクタ・Zoom などの設定・操作は企画者でお願いいたします。
※コピー機の使用およびスタッフによるコピー代行はできません。
※資料、飲み水等が必要な場合は、企画／出演者でご用意ください。
- 3) 発表時間 120 分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Web サイトから、規定の要領で企画申込をしてください。
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催をお断りする場合があります。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集 2 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
- 6) 企画費 20,000 円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数 自主シンポジウムを企画申込できる回数は 1 回とさせていただきます。
また、出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム、日本発達心理学会関連団体による企画ラウンドテーブル、ラウンドテーブルと合わせて大会中 1 人 3 回までとさせていただきます。
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須です。**
会員・非会員にかかわらず企画に出演する場合(司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等)、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、p.10 一覧表の注 3)に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1回のみ一人分支払うことになります。
- 9) 利益相反の申告 p.8の「【5】 注意事項」をご覧ください、利益相反の申告(一定の限度を超えた場合に限ります)をお願いします。

【4】ラウンドテーブル

- 1) 企画者 会員
- 2) 発表形態 同じ問題意識を持った者同士の自由な議論が主体の企画です。
企画者は参加者に話題を投げかけ、討論を促します。必要に応じて、話題提供者やファシリテーターを設定してもかまいません。
会場は、50 名程度収容可能な部屋です。
原則として、企画者・話題提供者・ファシリテーターは会場にて討論を行います。ただし、様々な理由から来場が困難な場合、オンラインによる討論を行うことができます。
※会場系のスタッフはつきません。企画者・司会等出演者ご自身で管理・運営の進行をお願いいたします。
※コピー機の使用およびスタッフによるコピー代行はできません。
※資料、飲み水等が必要な場合には、企画／出演者でご用意ください。
- 3) 発表時間 120 分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Web サイトから、規定の要領で企画申込をしてください。
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集 1 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
- 6) 企画費 20,000 円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。

- 7) 企画・出演回数 ラウンドテーブルを企画申込できる回数は1回とさせていただきます。
出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム、日本発達心理学会関連団体による企画ラウンドテーブル、自主シンポジウムと合わせて大会中1人3回までとさせていただきます。
 ※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には、出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須です。
 会員・非会員にかかわらず、企画に出演する場合(司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等)、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。
 ※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、大会参加費はp.10 一覧表の注 3)に記載のように大会期間中有効ですので1回のみ一人分支払うことになります。
- 9) 利益相反の申告 p.8の「【5】 注意事項」をご覧ください、利益相反の申告(一定の限度を超えた場合に限り)をお願いします。

【5】ポスター形式の研究発表

- 1) 研究発表者 責任発表者および筆頭者になれるのは会員のみです。連名発表者は非会員も可とします。
- 2) 発表形態 個人または複数の人がポスター形式で研究を発表するものです。
 ポスターパネル(横 90 cm ×縦 210 cm の予定)にポスターをセッション開始時刻までに掲示し、それをもとに発表者と質問者が個別に討論します。
 連名発表者も大会に参加し発表することが期待されますが、責任在席時間はありません。連名発表者は申込者と共同で研究した者に限ります。
- 3) 発表時間 ポスターの掲示時間は120分、責任在席時間は決められた60分です。
 ※「大会論文集への発表論文の掲載」「掲示時間内のポスター掲示」「掲示場所での責任在席時間内の個別討論」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。以上3つの要件について変更、不備・不足があった場合には、大会委員会は理事会と協議しその取り扱いを決定し、学会誌広報欄で報告します。
- 4) 申込方法 責任発表者が、Web サイトから、規定の要領で発表申込をしてください。
 ※倫理的な問題等により発表が認められない場合があります。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集1ページ分。原稿作成要領はWeb サイトをご参照ください。
 ※責任発表者が参加申込費を期日までに納入しない場合には、論文集への掲載はできませんのでご注意ください。
- 6) 研究発表費 大会参加費に含まれます。
- 7) 発表回数 責任発表者となれるのは、大会期間中1回に限ります。ただし、連名発表者となる場合には回数の制限はありません。
- 8) 連番発表 複数名による研究グループが連番発表を行う場合も、責任発表者が各自Webで入力を行い、規定の要領で発表申し込みをしてください。Webでの申し込みの際、「連番発表の希望」チェックボックスにチェックを入れ、すべての連番発表筆頭者の会員番号と氏名を入力するようにしてください。また、論文集のタイトルも連番発表であることがわかるようにご注意ください。
- 9) 倫理事項の確認・利益相反の申告 p.8の「【5】 注意事項」をご覧ください、倫理事項の確認・利益相反の申告(一定の限度を超えた場合に限り)をお願いします。



4. 大会参加の手続き

■はじめに

◇大会参加の申込、発表・企画の申込、大会論文集原稿の投稿の〆切はすべて **2025 年 10 月 17 日(金)** です。**手続きの〆切一覧表をご参照ください。**

◇すべての手続きは大会 Web サイト(<https://www.jsdp.jp/jsdp2026/>)で行います。

※大会参加に関する問題やご質問がある場合は、日本発達心理学会第 37 回大会ヘルプデスクにご相談ください。➡連絡先 E-mail: jsdp-desk@conf.bunken.co.jp

※いずれの申込も、大会 Web サイトでの手続き後、「費用の納入」をもって完了します。

【1】大会参加の申込

◇大会に参加し発表や企画を行う会員は、まず「大会参加の申込」を行ってください。

◇〆切は、**2025 年 10 月 17 日(金)17 時** です。

※あらかじめ 2025 年度の年会費が納入されていることが必要です。年会費についてのお問い合わせは、会員管理事務局 連絡先 E-mail: jsdp-post@as.bunken.co.jp までご連絡ください。

※参加の申込は、会員情報管理システムを用いて行われます。会員情報に変更や修正事項がある場合には、参加登録をする際、事前にマイページにて各種情報の確認・訂正をお願いします。大会に関する連絡をマイページのものと別々の住所に希望する場合には、会員情報は変更せず、大会参加申込の段階で連絡先を変更してください。この場合、会員情報は変更されません。

※発表や企画がなく大会参加のみの場合には、大会当日までクレジットカードにて大会参加の申し込みができます。ただし、10 月 17 日(金)17 時以降の参加申込みは「当日料金」の扱いになります。

※非会員についても、事前の大会参加申込が可能です。

※当日参加の大会参加費を現金で納入することはできません。クレジットカードをお持ちでない会員の方は、10 月 17 日(金)までに郵便振替による事前申込を行ってください。なお振込先は、参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

【2】発表・企画の申込

◇「大会参加の申込」終了後、「発表・企画の申込」が可能です。

◇〆切は、**2025 年 10 月 17 日(金)17 時** です。

◇会員が行う発表・企画の形式は以下の5つです。

- ・関連団体による企画シンポジウム
- ・関連団体による企画ラウンドテーブル
- ・自主シンポジウムの企画
- ・ラウンドテーブルの企画
- ・ポスター発表

【3】大会論文集原稿の投稿

◇発表・企画の申込をした方は、大会論文集原稿を投稿してください。

◇〆切は、**2025 年 10 月 17 日(金)17 時** です。

※〆切までに投稿が完了しない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

【4】費用の納入

◇費用は p.10 の一覧表のとおりです。納入はクレジットカードをお願いします。大会 Web サイトの指示に従って納入してください。

クレジットカードをお持ちでない場合に限り「郵便振替」のご利用は可能ですが、2025 年 10 月 17 日(金)以降は利用できませんのでご注意ください。なお振込先は、参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

◇〆切は、**2025 年 10 月 31 日(金)17 時**です。

※〆切までに参加費・企画費の納入がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

※事前参加申込をされた場合でも、納入が 10 月 31 日(金)を過ぎますと、参加費は「当日料金」となりますので、必ず 10 月 31 日(金)までに納入してください。

【5】注意事項：必ずお読みください！

- ◇関連団体企画シンポジウム・ラウンドテーブル／自主シンポジウム・ラウンドテーブル：企画者の費用納入とともに、企画出演者である会員／非会員の全員が大会参加費を納入する必要があります。非会員の出演者についても、大会参加費を事前にお支払いください。企画費・大会参加費を納入していない場合、該当するプログラムを公式に開催することができません（企画として認められません）ので、十分ご注意ください。
- ◇費用の返却：納入された費用は、事情の如何にかかわらず返却できません。
- ◇学部生の発表：2026 年 3 月卒業予定等の学部学生も発表者になることができます。ただし、発表申込前までに 2025 年度会費の納入を含めて学生会員の入会手続きを完了していることが必要です。
- ◇年会費の納入：いずれの発表・企画についても、2026 年度会費を発表当日までに納入していることが必要です。2026 年 3 月卒業予定等の学部学生が発表者になる場合も同様です（定款では、翌年の会費を 12 月末日までに支払うことになっています）。

※ポスター形式の研究発表を申し込む際には、以下の1)2)の事項が適用されます。企画（各種シンポジウム・ラウンドテーブル）を申し込む際には以下の2)の事項が適用されます。該当者が行う手続きの詳細については、Web サイトでの発表・企画申し込み時にご確認ください。

- ◇1)倫理事項の確認：発表者には、いくつかの項目からなる倫理チェックリスト（「発表内容に個人が特定される情報が含まれていない」、「共同発表の場合、共同研究者を適切な方法で表記している」など）にご回答いただきます。また、抄録でも、倫理事項に留意して研究が実施されていることに言及してください。なお、本確認は、各研究機関等における倫理審査委員会の承認を求めるものではありません。
- ◇2)利益相反の申告：発表者・企画者には、本会が定めた「利益相反(COI)に関する指針」に基づき（一定の限度を超えた利益相反がある場合に限り）、研究に関わる利益相反の申告を行うことが求められます。利益相反(Conflict of Interest:COI)とは、外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態をいいます。「経済的利益関係」とは、研究者が、自分が所属し研究する機関以外の機関との間で給与等を受け取る等の関係を持つことです。

【6】大会論文集 CD-ROM の送付の廃止、事前予約購入の受付

- ◇大会に参加される方全員に大会論文集 CD-ROM を送付することはいたしません。送付を希望される方には、事前予約購入の申し込みをしていただく必要があります。代金は会員 4,000 円(送料を含む)、機関購読 5,000 円(送料含む)です。10 月 31 日（金）17 時までに、下記の事項を第 37 回大会総合窓口まで別途ご連絡ください。

- ➡ 連絡先 E-mail: meeting2026@jsdp.jp
 - ・機関名（領収書の宛先名義）
 - ・担当者
 - ・連絡先
 - ・部数
 - ・その他(見積書・納品書・請求書が必要な場合は、その旨を明記してください)

- ◇大会論文集の Web 版は、大会前並びに大会中、参加者限定の ID と PW を利用して、大会 Web サイトにおいて閲覧・ダウンロードすることができます。また、大会終了後には、発達心理学会 HP でも会員の方を対象に閲覧・ダウンロードすることが可能となります。

【7】個人情報の取り扱いについて

本大会の申込や問い合わせにより得られた個人情報は、個人情報保護法に基づき、諸連絡、支払いの確認といった本大会運営上必要な業務にのみ使用いたします。それ以外の目的では使用いたしません。



【8】大会発表のインターネット公開(大会発表論文集のJ-STAGE登録)について

第37回大会から、大会発表論文集をJ-STAGE*¹に登録し、発達心理学会会員の皆様の研究活動をより広く一般の方々に公開いたします*²。本大会での積極的な発表をお願いしますとともに、研究倫理を遵守頂きますよう改めてお願いします。研究の妥当性と信頼性に課題や懸念がある場合は論文中で明確に言及してください。公開は大会から約1年後とすることで、大会発表論文集購入者・機関(大会参加者を含む)による情報取得のプライオリティを確保します*³。

登録後は、J-STAGEの「日本発達心理学会大会論文集」のページに「資料トップ」として、最新大会(前年度大会)のシンポジウム・研究発表などと月間アクセス数ランキングが表示されます。また、検索エンジンサイトからキーワード検索で、個々の論文がヒットします。

*1 J-STAGEは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォーム「科学技術情報発信・流通総合システム」です。

*2 学会Webサイトでは、会員に限り、過去の大会論文集をご覧いただくことができます。
<https://jsdp.jp/public/>

*3 J-STAGE登録についての本会の考えは、学会Webサイト(<https://jsdp.jp/>)をご覧ください。

■各手続きの〆切

2025年9月			
事前参加申込(郵便振替)	開始		10月17日(金)17時〆切
事前参加申込 (クレジット決済)	開始		10月17日(金)17時〆切
当日参加申込 (クレジット決済のみ)		10月17日(金) 17時開始 	大会当日
すべての発表・企画申込 (関連団体企画・自主シンポジウム・ラウンドテーブル・ポスター)	開始		10月17日(金)17時〆切
すべての発表・企画の 論文集原稿投稿	開始		10月17日(金)17時〆切
事前参加費・企画費納入	開始		10月31日(金)17時〆切
大会プログラム追加購入費 納入	開始		10月31日(金)17時〆切
大会論文集CD-ROM 予約購入の受付	開始		10月31日(金)17時〆切



■大会参加の諸費用一覧(税込、ただし会員登録費・企画費は不課税)

費用	対象		事前	当日 ¹⁾	備考
大会参加費	一般会員	大会参加のみ	13,000 円	14,000 円	³⁾
		大会参加・発表 非会員連名者なし	13,000 円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	13,000 円	—	非会員連名費は不要。非会員連名者の有無で参加費は変わりません。
	学生会員 ⁴⁾	大会参加のみ	9,000 円	11,000 円	³⁾
		大会参加・発表 非会員連名者なし	9,000 円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	9,000 円	—	非会員連名費は不要。非会員連名者の有無で参加費は変わりません。
	非会員	一般・大学院生	15,000 円	16,000 円	²⁾ ³⁾
		学部生	1,000 円	2,000 円	²⁾ ³⁾
関連団体シンポジウム/ラウンドテーブル企画費	企画申込者		5,000 円	—	企画申込者が支払います。
自主シンポジウム/ラウンドテーブル企画費	企画申込者		20,000 円	—	企画申込者が支払います。
大会プログラム	追加購入希望者		1,000 円	1,000 円	会員には大会前に 1 冊送付されます。追加購入される場合の金額です。
CD-ROM 事前受付	購入希望者		4,000 円		送料込みの金額です。 機関購読の場合は 5,000 円です。

※※注意※※

- ¹⁾ 当日受付：発表・企画の申込をしておらず、事前の参加申込をしていない方でも、会期最終日までに大会参加費を支払うことで参加いただけます。(※ただし、当日会場における現金のお取り扱いはいたしません。必ずご来場前に大会 Web サイトからの登録をお済ませください。)
- ²⁾ 非会員に関わる費用：非会員が「大会に参加する場合」は、連名発表やシンポジウム／ラウンドテーブルでの出演の有無にかかわらず、大会参加費をお支払いください。
- ³⁾ 大会参加費は、支払われた日だけではなく、大会期間中(3 日間)の参加費となります。
- ⁴⁾ 本会における学生会員は学部学生・大学院生・研究生です。

5. 大会に関する広報・諸連絡

【1】今後の諸連絡

- ◇第2号通信は送付しません。
- ◇今後の諸連絡は、大会 Web サイト(<https://www.jsdp.jp/jsdp2026/>)にてお知らせいたします。
- ◇諸費用の納入は、大会 Web サイトからの**クレジット決済**にてお願いします。
例外としてやむを得ない場合に限り、「郵便振替」のご利用も可能ですが、この場合 2025 年 10 月 17 日(金)までしかご利用になれません。振込先情報は参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

【2】日本発達心理学会・会費の納入

- ◇第37回大会で研究発表をする場合には、「2025 年度の会費を参加申込までに」かつ「2026 年度会費を発表当日までに」納入してください。両方を納入していない場合には、大会での発表の権利を失うことがあります。
- ◇会費については、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。
➡連絡先 E-mail: jsdp-post@as.bunken.co.jp
- ◇学生会員に限り、初年度年会費を半額にしています。新入学生会員の皆様の年次大会での発表を歓迎します。詳細は以下をご覧ください。
https://jsdp.jp/uploads/contents/membership_fee_first2022.pdf

【3】日本発達心理学会への入会

- ◇日本発達心理学会に入会していない方が会員(一般会員/学生会員)として研究発表を行うためには、参加申込以前に、2025 年度会費の納入を含め、日本発達心理学会への入会手続きを完了していることが必要です。入会申込後、入会承認手続きが行われます。
- ◇入会申込 URL は、<https://jsdp.jp/admission/> です。
- ◇入会手続きについては、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。
➡連絡先 E-mail: jsdp-post@as.bunken.co.jp

【4】宿泊について

- ◇宿泊施設のご案内はしておりません。会場周辺に宿泊施設が多数ございますので、各自でご手配ください。

【5】その他

- (1) 会務報告会、学会賞・国際奨励賞 授与式
 - ◇会務報告会および各賞の授与式を行います。
 - ◇大会 2 日目: 3 月 4 日(水)午後を予定しています。
 - ◇詳細は大会 Web サイトおよびプログラムにてご案内いたします。

- (2) 懇親会
懇親会は行いません。

- (3) 託児室
 - ◇会場内に託児室を開設します。
 - ◇託児室の利用は**有料**ですが、大会事務局としてもご負担を軽減できるよう尽力いたします。
 - ◇料金や申し込み方法など、詳細は、後日大会 Web サイトおよびプログラムにてお知らせします。
 - ◇大会参加者が会場にお子様を同伴されるのは歓迎です。

- (4) 情報保障
情報保障をご希望の方は 10 月 17 日(金)までに E-mail にて大会総合窓口にお問い合わせください。

- (5) 書籍および機器の展示
◇大会期間中、会場内で関連書籍や機器の展示を行います。

6. 第 37 回大会および学会に関する連絡先

【1】日本発達心理学会大会ヘルプデスク

◇大会参加・発表申込、参加費納入に関するご質問は、E-mail で下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会大会ヘルプデスク
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター(株)国際文献社内
E-mail:jsdp-desk@conf.bunken.co.jp

【2】大会総合窓口

◇その他、会場や大会運営全般に関するご質問は、E-mail で下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会第 37 回大会総合窓口
E-mail:meeting2026@jsdp.jp
第 37 回大会 Web サイト:<https://www.jsdp.jp/jsdp2026/>

【3】日本発達心理学会会員管理事務局

◇日本発達心理学会への入会、年会費納入状況、会員情報に関する質問は、E-mail で下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会会員管理事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内
E-mail:jsdp-post@as.bunken.co.jp
受付時間:平日 9 時~12 時、13 時~17 時

【4】日本発達心理学会事務局

一般社団法人日本発達心理学会事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
E-mail:office@jsdp.jp
FAX:03-5227-8631
学会 Web サイト:<https://jsdp.jp/>



イラスト:クドウとモコ